

「東海」削除問題の経緯

- 3月 町の判断で説明碑から「東海」表記を削除

5月 9日 本紙の報道で「東海」削除が発覚

10日 田中満雄町長が民団鳥取県地方本部に陳謝

15日 民団が町に原状回復を求めて抗議文提出
江原道から県に対して「憂慮」の文書届く

18日 町長らが民団に謝罪と善後策を約束

20日 町が、碑文を日本語は「日本海」、ハングルは
「東海」表記で作り直す修正案を発表

31日 町議会が、「日本海」「東海」とともに使用しない
再修正案を発表

6月 4日 中井勲元町長が原型復元を求めて建議書提出
(6日に取り下げ)

7日 田中町長が激務で療養し、山下一郎副町長が職務
代理者に
在大阪韓国総領事館神戸事務所長が来県し、交流
継続を確認

8日 共産党琴浦町委が町に情報公開の徹底などを申し
入れ

15日 町議会で町の方針を問う質問が出たが、山下副町
長は明言避ける

後退 交流 民団反発

琴浦町が日韓友好碑の説明碑から「東海（トンヘ）」を削除した問題で、町議会全員協議会が十八日開かれ、碑文について協議し、町執行部が提出した日本文のみに「日本海」を明記する再々修正案を了承した。

この問題で、町は当初、見送ることにした。日本語で「日本海」、ハングルで「東海」とする議会が「日本海」も「東海」も使わない案に再修正していた。再々修正した碑文案は、日本文の「嵐で遭難」を「日本海で遭難」とし、西暦から元号との併記に修正。ハンガルは「日本海」「東海」とも表記をえて、いることを明らかにした。

金協で山下一郎副町長は「町民に迷惑や不安がないよう、安全安心を第一に考えて文案を協議しました」と説明。町内では右翼団体による街宣活動も目立っていた。再々修正では、外務省に問い合わせ、政府として「日本海」が国際的に確立した唯一の名称という回答を踏まえて、いることを明らかにした。

（ハンド）団長は「外務省の見解がどうかとか呼んでの問題ではない。日韓交流に対する認識の欠如であり、強い憤りを感じる『東海』の記述を避けているのは明らかで、交流の後退を意味する。町民に常識的な交流のあり方を教えてもらいたいし、訴えていきたい」と反発を強めている。

一方、民団鳥取県地方事務所(鳥取市行徳二丁目)に再々修正案がノックスで届き、「町議会の副議長から「町民の危険を避けるため」と電話で説明を受けた」という。今回の碑文削除問題をめぐり、中国五県の民団でくる中国地方協議会は今週、町長と議長に抗議文を提出する方針だ。

「東海」削除問題

日本文に「日本海」明記

議員からは「原状回復が望ましい」「これ以上長引かせては不性感を助長する」「全員で認め、町民にも説明することが大切」など賛否両論が続出する。